



発行 中里の家 館山市中里228-1番地
☎0470-28-2022

秋も深まり、入所生は元気に毎日を過ごしております。この前の一泊旅行はいかがでしたか。入所生も職員も初めての旅行ということで緊張もありましたが、無事に終えることができました。安心して安心しました。

保護者の皆様には、物心両面から多大のご援助を頂き厚くお礼申し上げます。入所生の喜びも大きく、一時は写真など見ながら旅行の話でもちきりでした。広く世の中を見ることが、どんなに大切であるかと痛感し、この企画が本当に有意義であったと自負しているところでもあります。今後も、このような行事を積極的に実施していきたいと思っております。

施設では、これから収穫祭を行い、家庭実習、そして餅つき会、クリスマス会などの行事を予定しております。いつものことですが、皆様のご協力をお願いいたします。

記、 施設長

11月、12月の行事予定

11月	12月
20日 収穫祭	10日 誕生会
21日 家庭実習（～24日帰所）	20日 餅つき大会、大掃除
26日 誕生会、避難訓練	24日 クリスマス会
	27日 家庭実習（～1月6日帰所）

一泊旅行を終えて

園生一人一人がそれぞれの思いを抱いて楽しみにしていた一泊旅行。私達も今回の一泊旅行で初めて遠出をする人が多いので大丈夫だろうか心配しましたが、無事旅行を楽しむことができました。そして旅行を機会に変化の見てきた園生もいます。真田君は往きのバスから歌ったり、日光の紅葉を見て「葉っぱ」と叫んだり旅行中絶好調で、園に帰ってからもその調子が続き、いろいろなことを話したり、歯磨きも自分でするようになりました。一泊旅行が園生にこんな良い刺激を与えるとは思いませんでした。来年も是非みんなで旅行に行きたいと思っております。そしてこれからも楽しい行事をたくさん企画して園生の励みになればと思っています。

記、 鎌田、山口

一泊旅行の思い出

暗い雨雲を見上げ、傘をさしながらの旅行は、大変だろうなあと心配しながら、朝、戸をあけたら雲間からの青空がまぶしく、思わず「お天気よ。」と大きな声が出てしまいました。今まで、十何年か施設にお世話になっていましたが、親子で旅行をするのは初めてです。言葉には出さないけれど子どものうれしそうな顔に、あらためて先生方の旅行に対するお骨折りに感謝いたしました。バスは千葉で合流し、一路日光へ。東照宮に参拝、高い石段を手を取り合って登る。子ども達に声をかけながら、遅れた人達を待ち合わせる。今までに経験したことのないさわやかな旅行でした。

宿での楽しい演出に笑い、明るく日は華厳の滝、中禅寺湖とまわりましたが、先生方の休みなくお世話して下さる姿に、心からお礼申し上げたくなりました。本当にありがとうございました。来年の旅行には、保護者の一名でも多く参加できるように……。

どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

記、 鈴木孝子

雪化粧の山々と美しい紅葉。荘厳な森の中の東照宮。子ども達の脳裏にはどのように焼き付いたことでしょうか。刺激のある風を感じながら、まさに“中里日和”の二日間でした。多勢の観光客に混ってお互いに助け合いながら総勢104名 中里一家日光の旅。こんなに早く一泊旅行が実現するとは思ってもみませんでした。

社に向かって手を合わせ、形こそ違っても願い事は皆同じだったことでしょう。子ども達の明るく嬉々とした様子に「一つ釜の飯」という言葉の通り、僅かの間に家族として深い結びつきの生まれた事を感じました。毎日の「中里の家」での生活をみる思いでして、唯々感謝の気持ちでいっぱいです。

施設長さんはじめ職員の皆様と、子ども達とともに私達保護者もみんなで強い強い絆で結ばれた一家族でありたいと願っております。

楽しい旅をありがとうございました。

記、 森井千代子

①たうしがった いっぱくりところ
みんなでホキルにきました。
しよくじせしました。
オレじをたました。
とろしよ うぐうせました。
しゃしんをとりました。
たうしがったです

塚本和代



一泊旅行
とろしよをたましたのしよつた。
10ハチにいてホキルにいた。
ホテルにたまってカラオケ大会は
もあつてした。
バスの中でうたをうたって、五つで
どんどんうたいはじめました。
ホテルのものをたふ、いちわつ
るがいのりでいっぱいして
した。
そして、ゆうせんさんのところま
でつくのがさあつた。
あつたのところがしよしんま
とつた。
ゆうごいばんをみんな
たつた。

丸真王里子



収穫祭(の巻 銭形平次調)

「え～収穫祭か、今年はまあ無理だろうなあ。」「てえ～へんだ、てえ～へんだ親分。」「ハチ、あわてていって～どうした。」「それが、今さぐったところ作陶部で皿ができてまっせ。」「な、なに」「それどころか木工部では緑台に鉛筆立て、縫製部では枕カバーに巾着袋、園芸部では、芋に蘭、生活部でも準備を始めてまっせ。」「それは確かか。」「へへい」「ななんと、こしゃくな、作業を始めてわずか半年のうちに……。よーしハチ支度にかかれ。」「へい、がってん承知。」という訳で収穫祭を開催することになりました。

どの作品も園生が一生懸命頑張った成果です。この収穫祭の喜びを糧に今後、より良い作品ができるよう、作業に取り組んでいきたいと思ひます。

ご協力よろしくお願ひいたします。

記、 岡田